

2015年2月23日（東京）
サプライチェーン排出量算定 テーマ別セミナー
第3回サプライチェーン排出量活用促進セミナー



Hondaの環境取り組み

本田技研工業株式会社

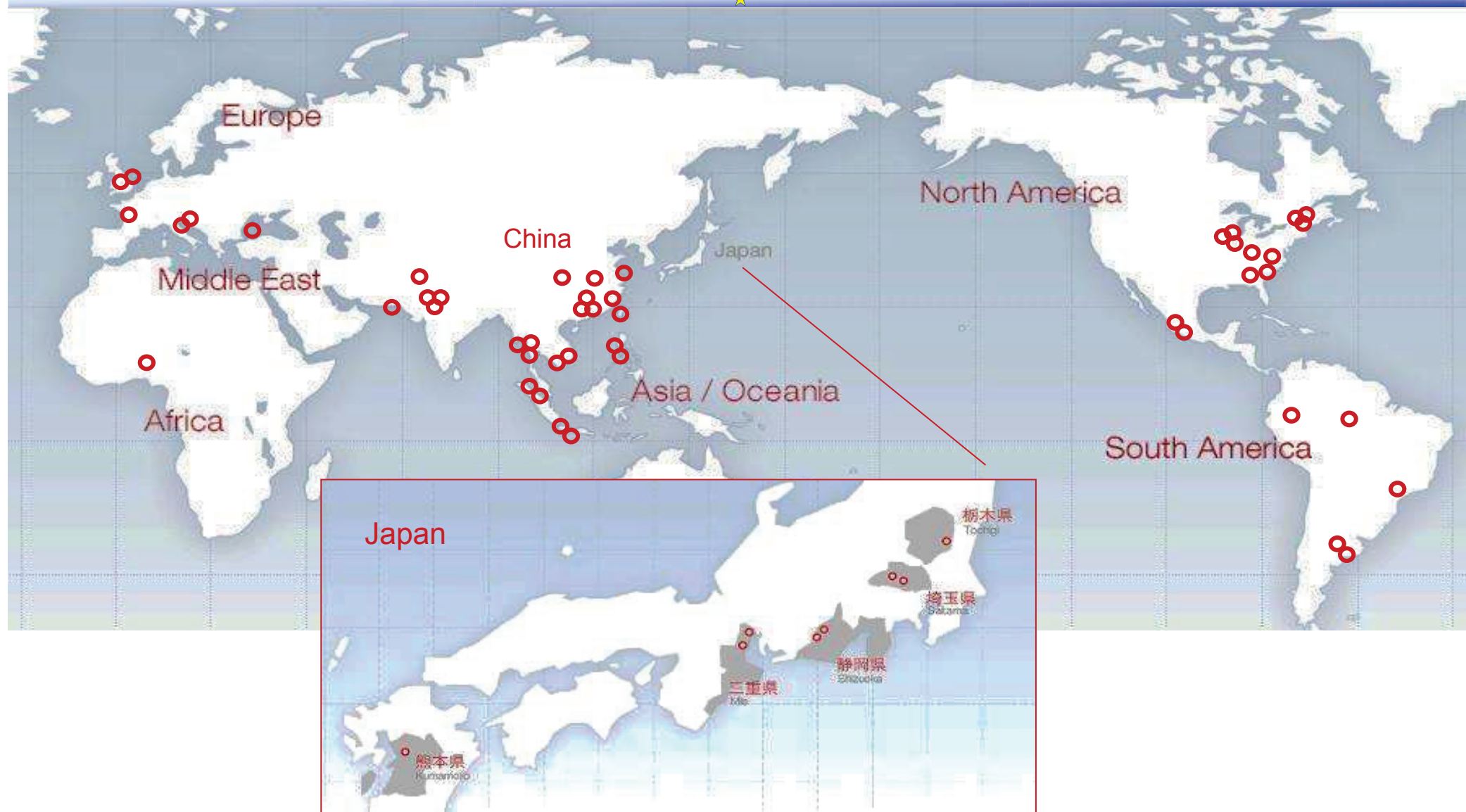
経営企画部 環境安全企画室

坂内 隆

Hondaの概要

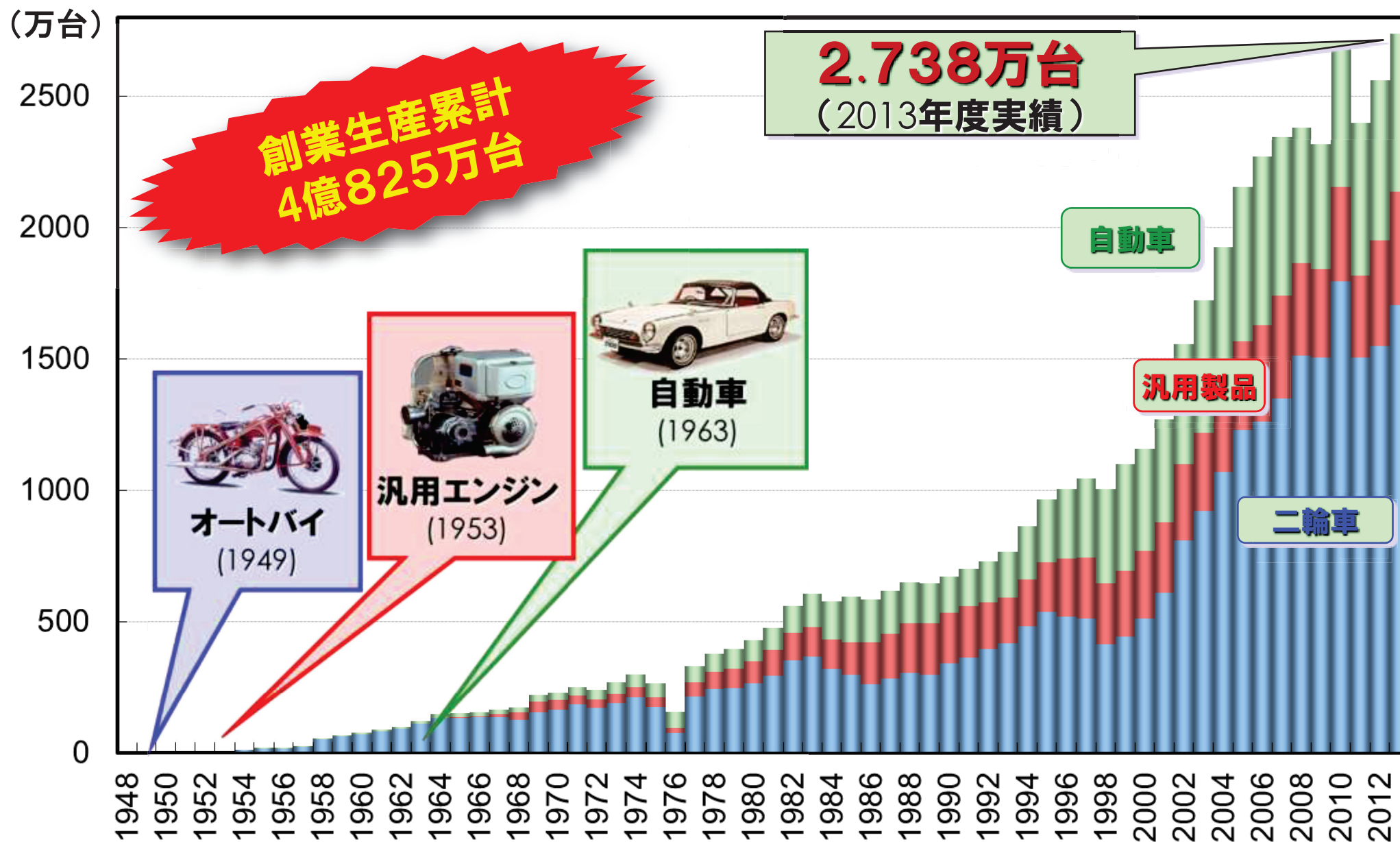


BLUE SKIES FOR
OUR CHILDREN



23カ国に 66の生産工場(オートバイ・自動車・汎用エンジン)





Hondaの環境取り組み

2020年環境ビジョン



BLUE SKIES FOR
OUR CHILDREN

Honda 環境問題への考え方

Honda グローバル
ブランドスローガン

HONDA
The Power of Dreams

21世紀の方向性

存在を期待される企業



CSRの重点テーマ



ステークホルダー

Honda フィロソフィー

社会

基本理念

運営方針

Honda環境宣言

Honda環境・安全ビジョン

「自由な移動の喜び」と
「豊かで持続可能な社会」の実現



BLUE SKIES FOR
OUR CHILDREN

Hondaグローバル
環境シンボル

環境課題に関する認識

【最重要課題】
気候変動問題
エネルギー問題

【重要課題】
資源問題

【関心課題】
生物多様性

Hondaが思い描く未来像

Triple ZERO

再生可能
エネルギーによる
CO₂排出ゼロ化

CO₂
Emissions

Energy
Risk

エネルギーリスクゼロ化

Waste

廃棄物ゼロ化

製品における対応

HEPS
Honda Environmental Performance Standard



企業活動における対応



Honda環境宣言

地球環境の保全を重要課題とする社会の責任ある一員として、Hondaは、**すべての企業活動を通じて**、人の健康の維持と地球環境の保全に積極的に寄与し、その行動において先進性を維持することを目標として、その達成に努めます。

以下に、私たちの日々の活動にあたって従うべきガイドラインを示します。

1. 私たちは、商品の研究、開発、生産、販売、サービス、廃棄という**ライフサイクル**の各段階において、材料のリサイクルと、資源、エネルギーの**節約**に努めます。
2. 私たちは、商品のライフサイクルの各段階で発生する**廃棄物、汚染物質**の最少化と**適切な処理**に努めます。
3. 私たちは、企業の一員として、また**社会の一員として**、人の健康の維持と地球環境の保全に努力することが重要であると認識し、**積極的に行動すること**に努めます。
4. 私たちは、事業所の活動が、それぞれの地域の人たちの健康と環境や社会に対し及ぼす影響について認識し、**社会から高い評価をいただけるように努めます。**

1992年6月制定・発表

**すべての企業活動
において**

ライフサイクルで節約

廃棄物の適切な処理

**社会の一員であることを
認識し積極的に行動**

**社会から高い評価を
頂けるように努める**

「自由な移動の喜び」と 「豊かで持続可能な社会」の実現

Realizing “ the joy and freedom of mobility ” and
“ a sustainable society where people can enjoy life ”

Hondaは、2020年に向けて「良いものを早く、安く、低炭素でお客様にお届けする」という方向性を定め、また、すべての人が、心から安心して、どこへでも自由に移動することができる社会をつくることを目指して、「Honda環境・安全ビジョン」を定めました。このビジョンには、パーソナルモビリティに関わる製品・サービスを通して、お客様に感動を提供し続け、社会の持続的な発展と調和に貢献していきたい、というHondaの強い想いが込められています。

Safety for Everyone
すべての人の安全をめざして

Hondaグローバル安全スローガン・ロゴ



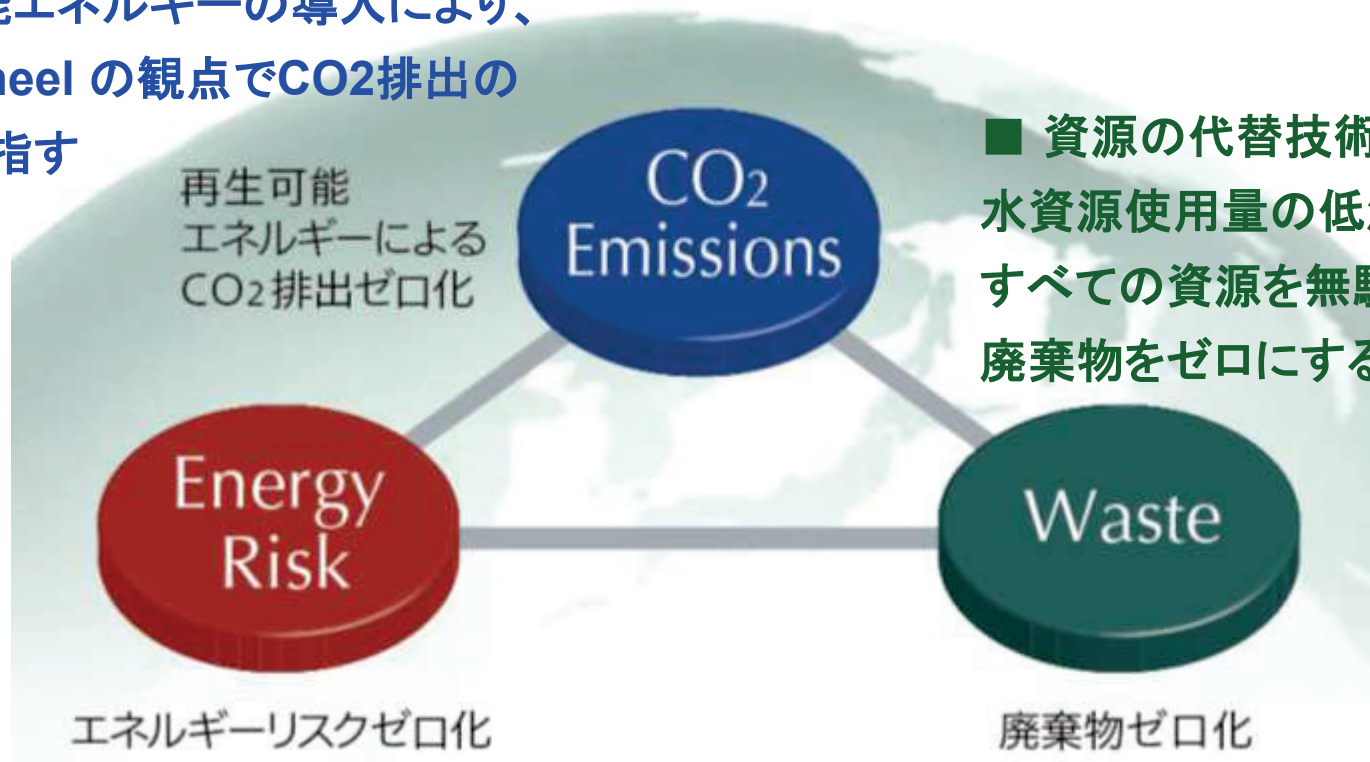
BLUE SKIES FOR
OUR CHILDREN

子供たちに青空を

Hondaグローバル環境シンボル

Triple ZERO

■ 再生可能エネルギーの導入により、
Well-to-Wheel の観点でCO2排出の
ゼロ化を目指す



■ 資源の代替技術、3R技術の進化、
水資源使用量の低減などにより、
すべての資源を無駄なく循環させて
廃棄物をゼロにすることを目指す

■ エネルギーマネジメント技術の進化による
環境管理の効率化で、エネルギーリスクのゼロ化を目指す

- ・「気候変動問題」「エネルギー問題」に対応するためには製品から排出されるCO₂排出低減が最も重要と考え、新たに2020年を目標年とした「2020年製品CO₂低減目標」を策定しました。
- ・ 2020年に向けては、これまでの方向性を継承しつつ、製品燃費・CO₂燃費規制の強化など社会の要請の高まりを受け、それに先駆ける低炭素技術の更なる革新と、その普及拡大を加速していきます。

2020年製品CO₂低減目標(2000年比)



Hondaの製品から
排出される
CO₂の全世界平均値

30%低減
g/km当たり

30%低減
g/km当たり

30%低減
kg/1時間当たり

気候変動情報の把握と開示

★
(「GHGプロトコル・イニシアティブ」はWRIとWBCSDが共催にて概算方法を定義)



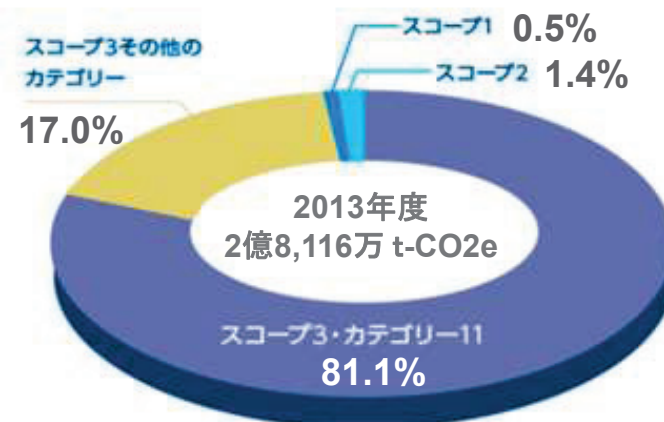
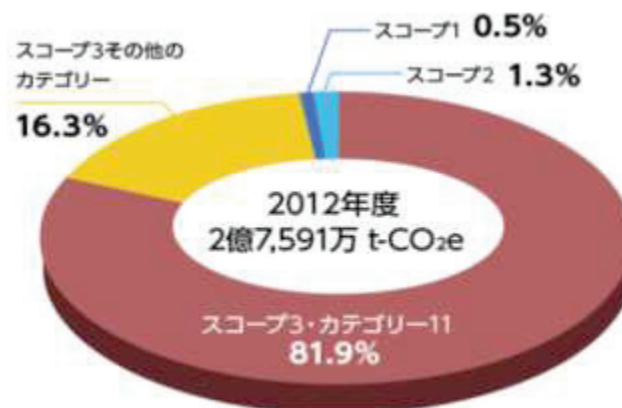
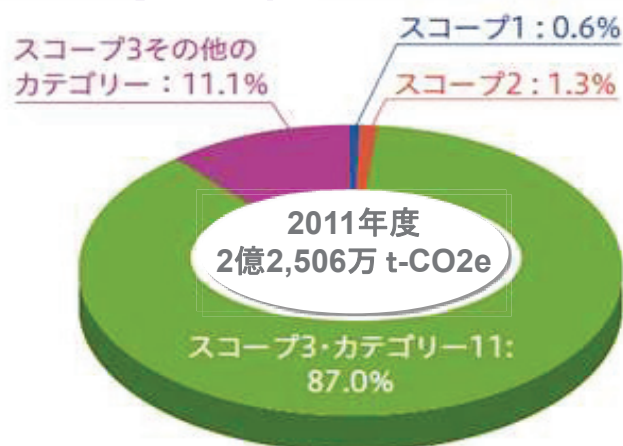
**GHG算定・報告のデファクトスタンダード「GHGプロトコル・イニシアティブ」は、
3つの範囲 (スコープ) に区分して排出総量を把握・計上する**

● Honda のバリュー・チェーン全体における温室効果ガス排出量

	2011年度	2012年度	2013年度
スコープ1※4 企業活動による直接排出	124万t-CO ₂ e	141万t-CO ₂ e	141万t-CO ₂ e
スコープ2※4 エネルギー利用による間接排出	296万t-CO ₂ e	354万t-CO ₂ e	380万t-CO ₂ e
スコープ3※4 その他の間接排出	2億2,086万t-CO ₂ e	2億7,096万t-CO ₂ e	2億7,595万t-CO ₂ e
バリュー・チェーン全体の排出 (スコープ1、2、3合計)	2億2,506万t-CO ₂ e	2億7,591万t-CO ₂ e	2億8,116万t-CO ₂ e
このうち Hondaの企業活動による排出 (スコープ1、2合計)	420万t-CO ₂ e	495万t-CO ₂ e	521万t-CO ₂ e
製品使用時の排出 (スコープ3・カテゴリー11※4)	1億9,588万t-CO ₂ e	2億2,595万t-CO ₂ e	2億2,814万t-CO ₂ e
スコープ3・カテゴリー11 以外の排出	2,498万t-CO ₂ e	4,501万t-CO ₂ e	4,781万t-CO ₂ e

スコープ3の算定においては、推計割合の大きいカテゴリーについて、データ収集の推計精度向上のため、対象範囲を拡大したり、算出方法の精度を向上させました。

● Honda の排出する温室効果ガスの内訳と推移



最新トピックス



BLUE SKIES FOR
OUR CHILDREN

つくる

つかう

つながる

再生可能エネルギー



非常用電源 (100V)



家庭用給電 (200V)



蓄電設備給電 (200V)



3つのコンセプトで、CO₂ゼロ社会を目指す

27MW 風力発電設備（2014年稼動）



計画から3年で2014年秋に稼動



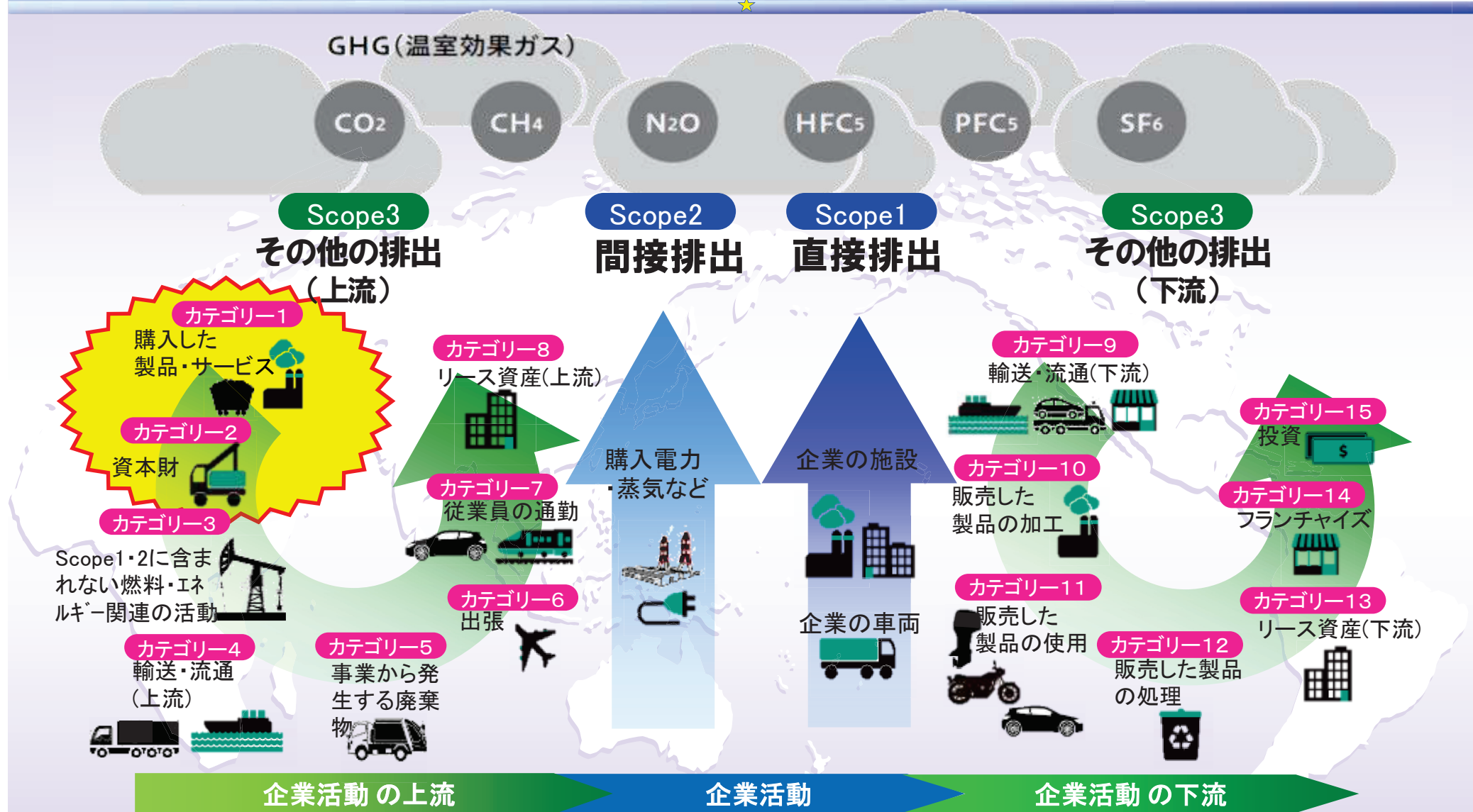
四輪工場の電力100%相当(9500MWh)を発電し、CO₂を30%低減

サプライチェーンへの取り組み



BLUE SKIES FOR
OUR CHILDREN

ライフサイクルでのCO₂低減



**ライフサイクル観点 (Scope1・2・3) での温室効果ガス低減を目指す
・サプライチェーン全体で各社と共同した取り組みが不可欠**



部品を作るための製造現場が世界中にあり、そこからCO2を排出している。

各国の生産工場にあわせて多数の部品サプライヤーが存在

●Honda製品

- ・二輪・四輪・汎用製品は、数多くの部品によって構成
- ・多くの部品は社外のお取引先で製造

●Honda購買部門の役割

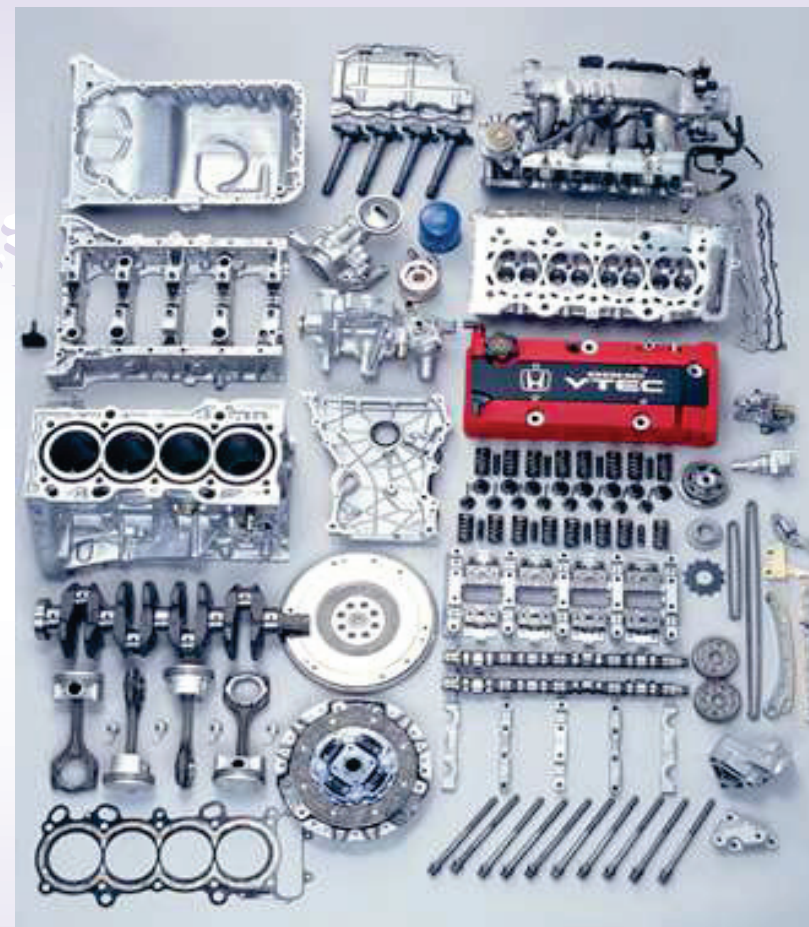
- ・製品に使用する部品の調達
- ・品質やコストの管理
- ・新技術の開発促進

購買理念(役割)

良い物を、安く、タイムリーに且つ、永続的に調達する

購買3原則

- 1.自由競争に立脚した調達
- 2.お取引先とは、対等な立場で取引
- 3.お取引先の主体性を尊重



お取引先にご協力いただき、世界中のお客様に製品を提供していく

●グローバル購買環境ビジョン

- ・お取引先と考え方を共有して、協力をお願いする
- ・お客様の期待を上回るQ・C・D・Dだけでなく、Eを提供
- ・地域社会と共存共栄する企業活動をグローバルで実現

購買ガイドライン

Quality
品質

Cost
コスト

Delivery
調達

Development
開発

Environment
環境

Honda環境・安全ビジョン

「自由な移動の喜び」と「豊かで持続可能な社会」の実現



〈志〉 「お客様の期待を上回るQCDDEを提供し続けるために
地域社会と共存共栄する企業活動をグローバルで実現する」

スローガン

“Green Excellence around the World”
for Exciting and Thrilling Products

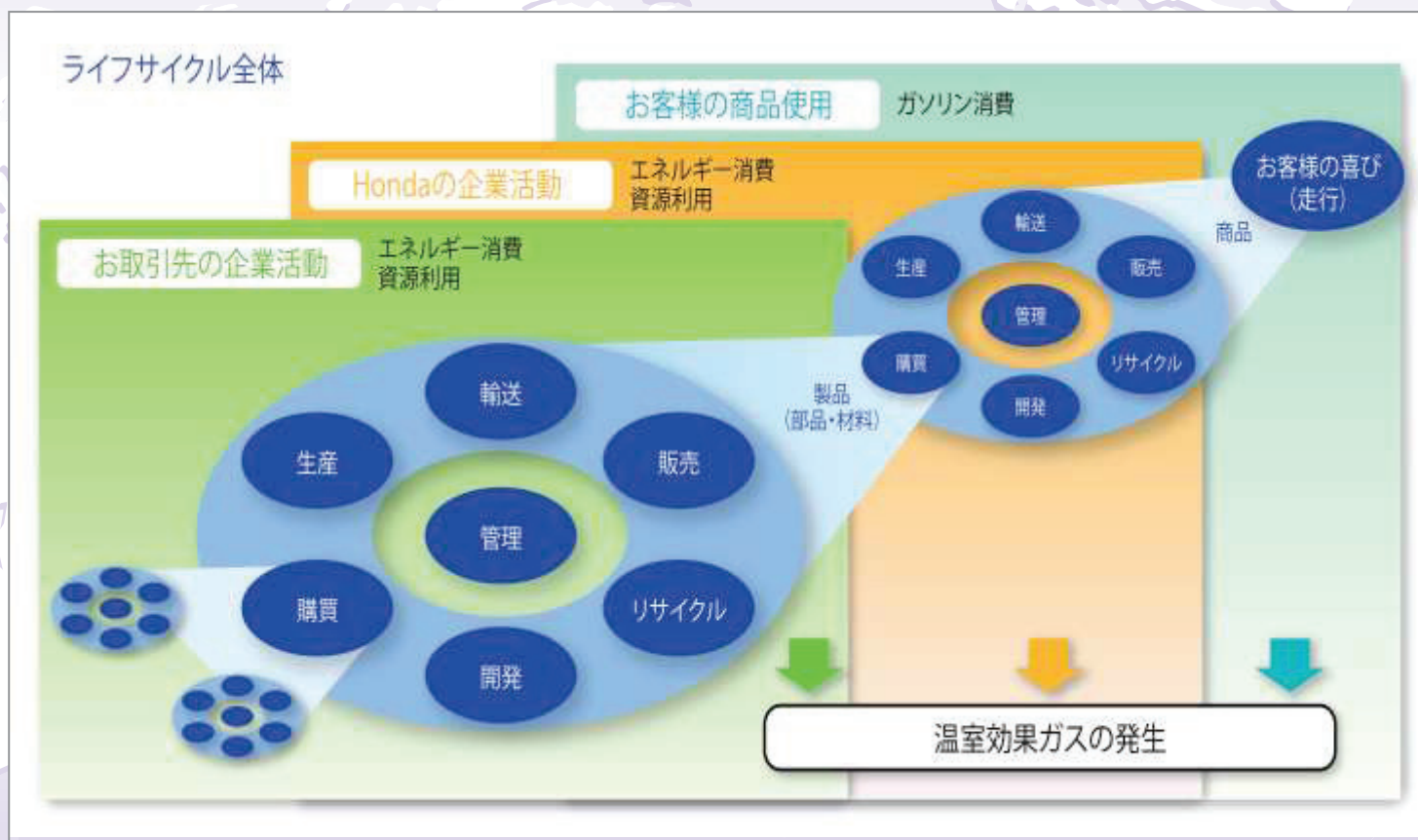
〈方針〉 グリーン購買ガイドライン
ライフサイクル観点での温室効果ガス低減

〈実行ステップ〉 環境グランドデザイン
低減PDCA→低炭素グローバルサプライチェーンの確立

各地域にてHondaとのお取引先を受け入れてもらい、共存共栄していく

●CO₂排出量の「見える化」

- ・サプライチェーン全体を算出、材料メーカーまではかなりの会社数
- ・それぞれ一つ上流のお取引先のCO₂排出量把握を依頼



お取引先のご協力によるサプライチェーン「見える化」の実現

●お取引先の協力

- ・各地域のお取引先のご協力が不可欠
- ・経営層への理解活動（経費削減に寄与する、お取引先の企業体質強化）



お取引先の体質強化につながることをトップに理解してもらう

クラウドサーバーを利用したデータ管理システムの導入

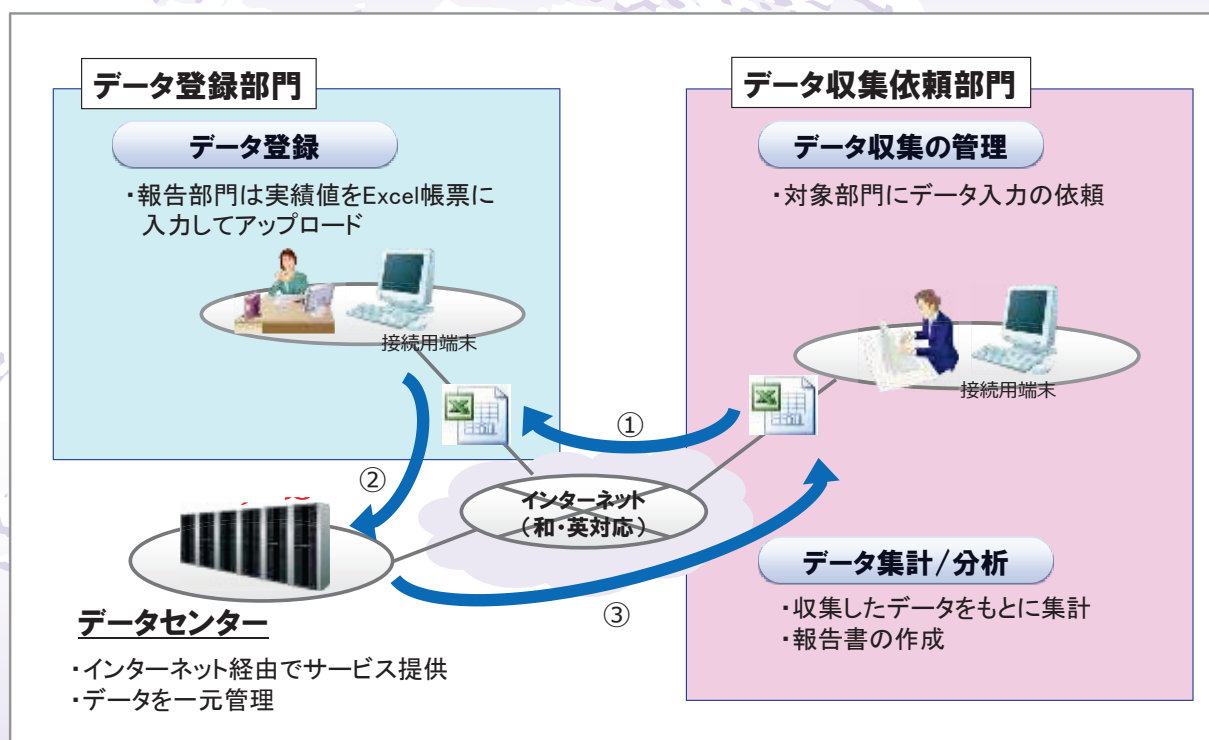
Hondaとお取引先で、膨大な環境データやその分析結果を効率的に共有し、CO2排出量の低減につなげる

●お取引先の入力内容

- ・排出量データ
- ・原単位
- ・削減施策
- ・セルフアセスメント

●Honda

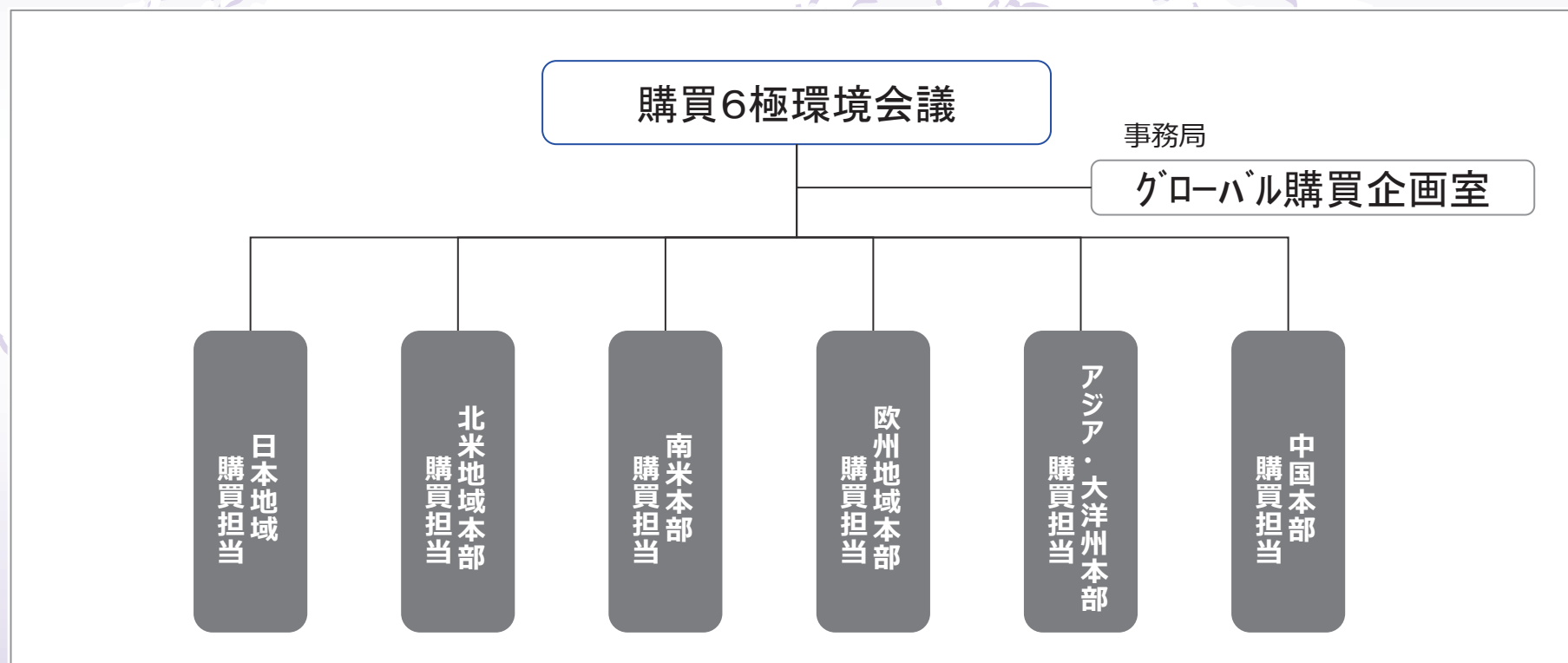
- ・排出量データ集計
- ・各社比較によるムダ削減
- ・施策などの情報共有
- ・負荷低減の具体的支援



**クラウドサーバーを利用してグローバルデータの収集
施策などを共有して、お取引先の環境負荷低減につなげる**

●購買6極環境会議

- ・Hondaの地域購買実務者が情報共有・議論・整合
- ・各地域間連携を実務者レベルでより強化
- ・各地域でお取引先と共に水平展開につなげる



地域ごとの環境取り組みにプラスして、グローバルでの情報共有を行う

●Honda環境方針お取引先説明会

- Hondaグリーン購買ガイドラインに沿った取り組みをご理解・ご協力いただく
- お取引先環境担当役員および環境実務責任者を対象

●Honda Green Network Meeting

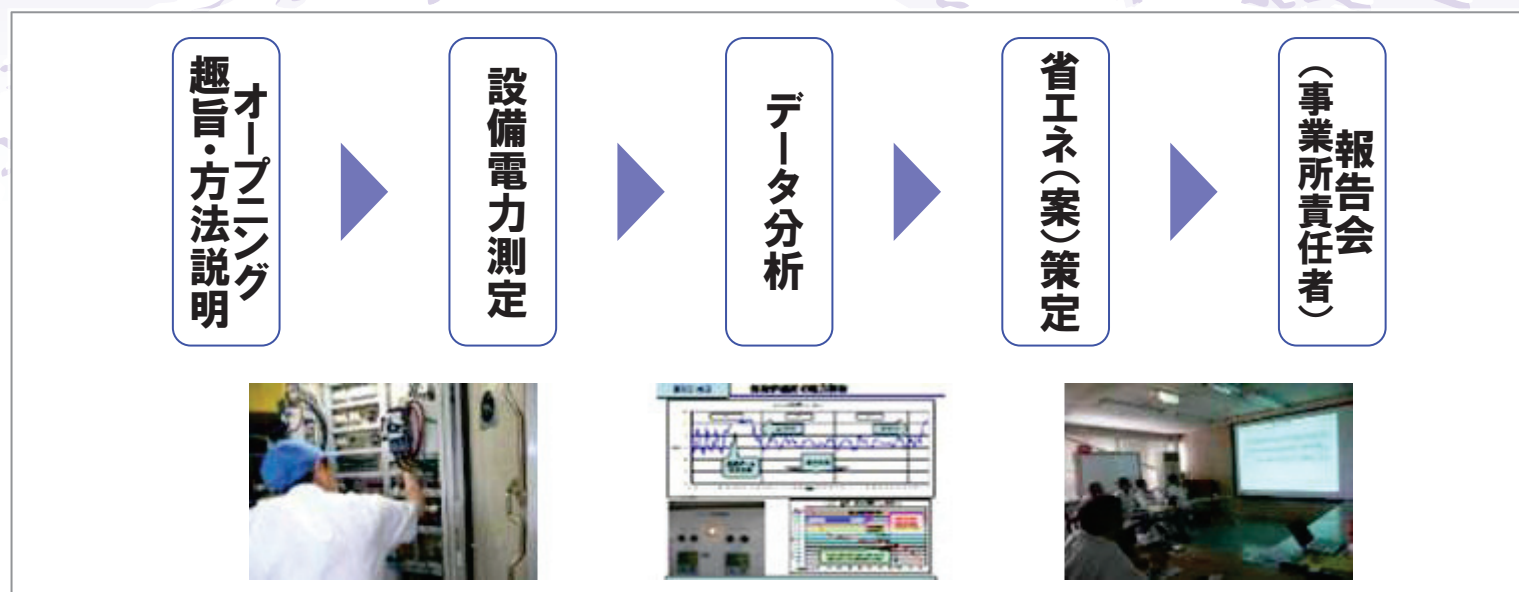
- 現場で実際に取り組みを行っている人々のコミュニケーション
- お取引先の有効施策の展開状況
- Hondaの地道な省エネ活動の成功例
- 困り事や課題の意見交換
- Hondaとお取引先が一緒になっての意見交換



お取引先の環境負荷低減の推進に役立つ説明会などを実施

●「省エネキャラバン」展開

- ・Hondaのエキスパートがお取引先を訪問し、設備の稼働状況を確認
- ・エネルギーの「見える化」を行い、有効な省エネ施策を提案
- ・お取引先のCO₂低減、コスト削減などをサポートする



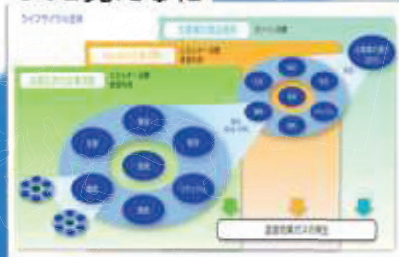
お取引先の品質が良くなる⇒Hondaの品質が良くなる
 お取引先のコストが下がる⇒Hondaのコストも下がる
 お取引先の環境体質が良くなる⇒Hondaの環境体質が良くなる

Hondaのエキスパートによる現場・現物での省エネ取り組みの支援

●環境に優しい製品および企業活動によって、お客様に喜びをお届けする

- ・お取引先と一体化した活動による低炭素サプライチェーン構築
- ・それぞれの地域の方々に受け入れられる企業活動

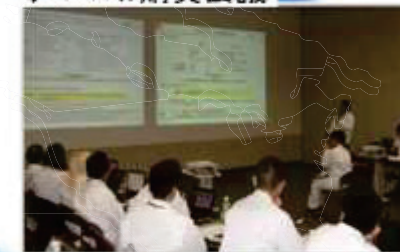
CO₂見える化



お取引先様説明会



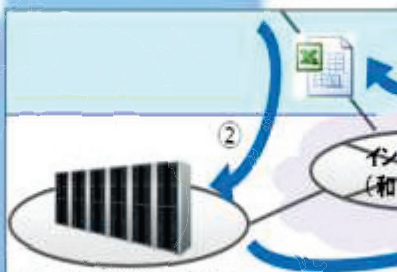
グローバル購買会議



お客様の期待を上回るQ・C・D・D・Eを提供し続けるために
地域社会と共存共栄する企業活動をグローバルで実現する



省エネキャラバン



データ管理システム



優良感謝賞

何万とある部品すべての製造現場で、CO₂排出量の低減に取り組んでいく

HONDA
The Power of Dreams



BLUE SKIES FOR
OUR CHILDREN

Thank you

